

# NEWS RELEASE

平成29年1月4日

三重県松阪市京町510番地  
株式会社 第三銀行

## 平成29年 年賀式での「頭取年頭訓示」について

株式会社第三銀行（頭取 岩間 弘）は、別紙の通り平成29年「年賀式」を行い、頭取より年頭の「訓示」がありましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 年頭訓示内容

別紙「年頭訓示（要約）」をご参照下さい。

※頭取の年頭訓示は全店（98か店）に配布し、朝礼にて支店長が代読をいたしました。

#### 2. 年賀式

- (1) 日 時 平成29年1月4日（水） 午前8時45分から  
(2) 場 所 当行本店 3階大会議室  
(3) 出席者 役職員約150名  
(4) 式次第 8時45分 経営理念の唱和  
8時50分 年頭訓示

以 上

〔お問い合わせ先〕

担 当	総合企画部広報課	吉 田	0598-25-0363
-----	----------	-----	--------------

キラリと光るあなたの銀行



## 年頭訓示(要約)

皆さん、明けましておめでとうございます。

こうして健やかに皆さんと新年を祝うことが出来ますことを、大変嬉しく思います。

昨年の国内経済は、中国の景気減速や原油価格の大幅な下落を受けて、株価が急落するという波乱の幕開けとなりました。また、熊本地震を始め集中豪雨や台風などの自然災害も多く、どちらかという悪い出来事が目立った年だったように思います。そうした中であって三重県は、5月に「伊勢志摩サミット」が開催されましたが、これといった混乱もなく無事に閉幕し、伊勢志摩のみならず、三重県の魅力を世界に発信する良い機会となりました。さらに、リオデジャネイロオリンピックでは、土性選手、吉田選手をはじめとした三重県出身の選手の活躍で盛り上がり、三重県に関しては明るいニュースが目立った1年であったのではないかと思います。

私たち地域金融機関は、足下ではマイナス金利政策による資金利益の減少、将来的には少子高齢化社会の進展に伴う人口減少と地域経済の縮小という厳しい環境の中に身を置いています。こうした環境変化は、私たちがこれまで経験したことがない領域に入っており、皆さん方一人ひとりが、環境変化に合わせて行動をより高度化させることが必要となります。

お客様と直接接する時間を増やすとともに、直接接することができるお客様の絶対数を増やすために、全行挙げて努力をしてその上で、お客様のニーズを的確に把握し、真にお客様のお役に立つ営業を行い、お客様に喜んでいただくことで、将来に向けて営業基盤の強化と拡充を図っていかねばなりません。

お客様に喜んでいただくためには、お客様のことを第一に考え、お客様のために最善のご提案やアドバイスを行うという姿勢を貫くことが必要です。厳しい環境で生き残っていくためには、何よりもお客様に喜んでいただき、当行を信頼していただくことが必要であり、しっかりとお客様と向き合い、お客様のお役に立つ活動に徹していただくようお願いします。

また、昨年の年末、「子供と家族・若者応援団表彰」で当行の取組みが認められ、「子育て・家族支援部門」で内閣総理大臣表彰をいただきました。「Lady Go!」の取組みや育ボス宣言、各種の子供育成プログラム等が総合的に評価されたものですが、こうした取組みは、社会からの要請が高まったから取組んだというものではありません。当行にとって必要だから取組みを進めたものであり、当行の将来のための取組みが社会からも評価されたと言うことができます。女性が生き生きと働ける職場は、活気にあふれ、生産性も高まることは間違いなく、総理大臣表彰の重みをしっかりと受けとめた上で、今年は更に取組みを進めていきたいと思っております。

昨年の年頭の挨拶では、昨年の干支の「申」は「呻く(うめく)」という字に由来して、果実が成熟して固まっていく状態をさしており、「種(たね)」となって次の世代に繋いでいくためには、一段と成熟する必要がある状態だというお話をしました。昨年の改革はスタートしたばかりであり、正にこれから成熟してくものです。

今年の干支である「酉」は、もともとは酒つぼを意味しており、収穫した果実から酒をつくるという意味から、熟した果実を収穫できる状態にあることを表すと言われております。今年は、改革を本格的に推進し、成熟させていく年です。そして、次の世代に繋ぐ「種」として残すため、全員が一丸となって努力していかねばなりません。そして、これらの改革が成熟し「種」となった時、厳しい経営環境の中で生き残っていける持続可能なビジネスモデルが完成したことになります。当行が地域のお客様に必要な不可欠な金融機関として選ばれるための改革なのです。

皆さんと一丸となって改革を突き進むものとするため、私も先頭に立ち、明るく前向きに、そして全力で取組んでまいります。本年が第三銀行グループにとって、更なる飛躍の年となることを心から祈念いたしまして年頭の挨拶といたします。